

平成 26 年全国消費実態調査

～ 家計資産に関する結果 二人以上の世帯（香川県）～

1世帯当たりの家計資産は3,233万円、前回（平成21年）と比べて647万円（△16.7%）の減少。
家計資産の種類別にみると、「耐久消費財等資産」が増加し、「金融資産」「宅地資産」及び「住宅資産」が減少。

平成26年11月末日現在の二人以上の世帯の家計資産は、1世帯当たり3,233万円となった。これを家計資産の種類別にみると、「金融資産(貯蓄-負債)」が1,477万円(家計に占める割合45.7%)と最も多く、次いで「宅地資産」が1,219万円(同37.7%)、「住宅資産」が407万円(同12.6%)、「耐久消費財等資産」が130万円(同4.0%)となっている。

平成21年と比較すると、家計資産は647万円（△16.7%）の減少となっている。家計資産の種類別にみると、「耐久消費財等資産」（+0.8%）は増加となっているが、「宅地資産」（△25.2%）、「住宅資産」（△23.1%）、及び「金融資産」（△7.2%）となっている。（図1、表1）

図1 家計資産の種類別1世帯当たり家計資産（二人以上の世帯）

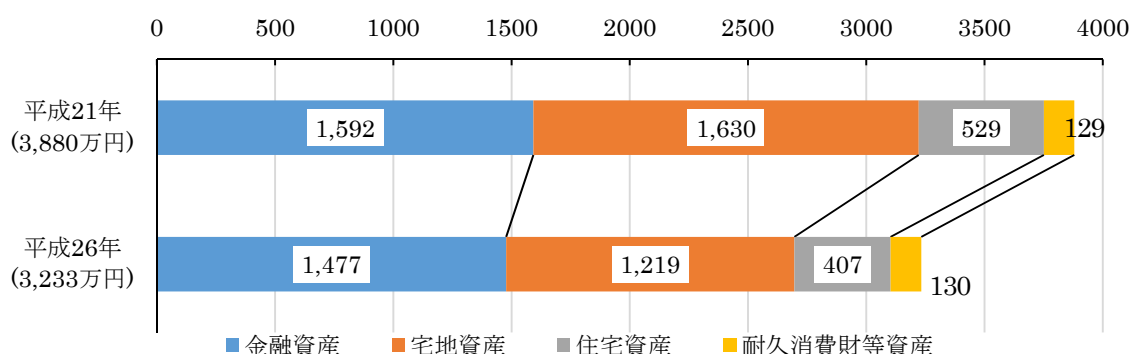


表1 1世帯当たり家計資産の内訳（二人以上の世帯）

項目	平成21年		平成26年		増減率 (%)	上昇・低下幅 (ポイント)
	実数	構成比 (%)	実数	構成比 (%)		
世帯主の平均年齢(歳)	56.5	—	58.3	—	* (1.8)	—
平均世帯人員(人)	2.98	—	2.96	—	* (△0.02)	—
宅地保有率 (%)	88.0	—	87.6	—	** (△0.4)	—
住宅保有率 (%)	90.4	—	88.4	—	** (△2.0)	—
家計資産(万円)	3,880	100.0	3,233	100.0	△ 16.7	—
金融資産(貯蓄-負債)	1,592	41.0	1,477	45.7	△ 7.2	4.7
貯蓄現在高	1,934	49.8	1,774	54.9	△ 8.3	5.1
負債現在高	342	8.8	296	9.2	△ 13.5	0.4
実物資産	2,288	59.0	1,756	54.3	△ 23.3	△ 4.7
住宅・宅地資産	2,159	55.6	1,626	50.3	△ 24.7	△ 5.3
宅地資産	1,630	42.0	1,219	37.7	△ 25.2	△ 4.3
住宅資産	529	13.6	407	12.6	△ 23.1	△ 1.0
現住居・現居住地	1,737	44.8	1,373	42.5	△ 21.0	△ 2.3
宅地資産	1,345	34.7	1,007	31.1	△ 25.1	△ 3.6
住宅資産	392	10.1	366	11.3	△ 6.6	1.2
現住居以外・現居住地以外	422	10.9	253	7.8	△ 40.0	△ 3.1
宅地資産	285	7.3	212	6.6	△ 25.6	△ 0.7
住宅資産	137	3.5	41	1.3	△ 70.1	△ 2.2
耐久消費財等資産	129	3.3	130	4.0	0.8	0.7
耐久消費財	124	3.2	118	3.6	△ 4.8	0.4
会員権	6	0.1	12	0.4	100.0	0.3

注 *は平成21年との差、**は平成21年とのポイント差